

2020年度 県央地区連絡協議会 第3回幹事会

2021年4月10日（日）10時、海老名市文化会館にて第3回幹事会を開催しました。今回の幹事会は、政策制度要求を協議・決定する重要な幹事会であり、参加者を制限しないよう最大定員64名の部屋を借り、総勢18名が出席をし、ソーシャルディスタンスが確保された会議運営となりました。



経過報告のあと、2021 春闘情勢を確認し、協議事項として1. 地域社会制度（政策・制度）の改善要求と提言について、2. 行動計画についてが協議されました。



1. 地域社会制度（政策・制度）の改善要求については、①一昨年取り上げた改善箇所の進捗状況が報告されました。麻溝公民館の横断歩道設置については、公民館が署名活動を行い、署名と横断歩道設置の要請書を相模原南警察署へ提出しており、その動向を注視することとしました。②昨年調査できなかった大和駅北口の横断歩道については、浅野副議長（ヤマト運輸労組湘南支部）が2021年3月19日（金）に調査を行い、横断歩道に関わる「横断者・通行車両」を集計しました。調査結果としては、横断歩道に信号機を設置する必要が無いと報告され、確認をしました。③あつぎの道づくり計画については、7つの交差点について改善要望を神奈川交運労協のフォームで作成しましたが、林南側交差点の場所が間違っているとの指摘があり、作成し直すこととなりました。



(2) 相模原地域連合 2022 年度に向けた「政策・制度要求と提言」については、2021 年度に対しての行政回答を確認し、その回答を踏まえて 2022 年度の要求と提言が作成され、確認されました。新たに各地区連絡協議会共通の要求と提言として「簡易型宅配ボックスの普及」が加えられました。



2. 行動計画については、第 92 回相模原地域メーデーへの参加について協議されました。コロナ禍から「小規模の実開催」となり、参加者の確認をしました。

次回、第 4 回幹事会は、従来 6 月に開催しておりますが、その協議事項が「メーデーの総括」「レクリエーションの総括」「クリーンキャンペーンの総括」でありました。本年は、それぞれ縮小開催や行事が開催されないことから活動を総括する必要が無いので、8 月に開催することとし、県連経過報告書に掲載する「地区連活動の経過」を中心に協議をすることが確認されました。

最後に、長い間レクリエーションでお世話になっていた「東林バーベキュー」が閉店になったことが確認されました。コロナ収束後には盛大にレクリエーションをしたいと皆さん思っていました、非常に残念です。他の地区連絡協議会もレクリエーションで利用していた施設がコロナ禍で閉店しないことをご祈念いたします。